

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオそら東中野		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 12月 2日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 11月 3日 ~ 2024年 11月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているか。	・支援計画作成時に保護者と面談を行い、ニーズの聞き取りを行っています。 ・複数の職員をケース会議を行い分析を行っております。	引き続き、保護者と面談等を行いニーズの聞き取りを行い、複数の職員を話し合い支援計画を作成します。
2	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	・ご希望頂いた際に面談を実施しています。 ・フィードバック時にお困りごとを聞き取り、練習も方法など提案しております。	引き続き、面談を実施しお気軽にご相談していただけるよう努めます。
3	こどもは通所を楽しみにしているか。	・活動前に職員間で情報共有を行い、好きな物や楽しかった活動など共有を行っています。 ・楽しい気持ちで降所できるように職員間で連携を行っています。	引き続き、児童が通所を楽しめるように努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	プログラムとしてペアレントトレーニングや研修会は行っていないため、機会は少ないです。	・ご相談等ある際はフィードバック時や個別に面談をさせていただき、お困りごとや自宅で出来るトレーニングなどをご提案できるように職員のスキルアップに努めます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者会などは実施していないため、機会は少ないです。きょうだいどちらかがイベントに参加いただいた場合に一緒に参加が可能な場合もございますが、きょうだい向けのイベントは実施しておりません。	・家族支援として面談等の実施に努めます。 ・イベントにてきょうだいでのご参加が可能な場合は、引き続き参加のお誘いをさせていただきます。
3	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	事業所の待ち合いに掲示をしたり、メール配信などを行っておりますが、十分に周知はされておられません。	・引き続き、情報の発信と保護者への周知を行って参ります。 ・ホームページやSNSの掲示を行っておりますが、今後も保護者への発信を行います。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名	スタジオそら東中野
------	-----------

公表日 2025年月日

利用児童数 40

回収数 20

回収率 50%

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	3	0	・思いつき体を動かすには狭いと感じる。 ・走り回るには狭いですが、細やかな動作の練習するには充分です。 ・整理整頓され、活動スペースが広く設定されている	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	3	1	・療育しながら電話対応やインターホンの対応をしている事があるので ・人数は適切だと思いますが、退職など先生の入れかわりが多いという印象を受けます。 ・異動が多いのは残念ですが、どの方もよく向き合ってくださいまし、人数も適切だと思います	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠勤がある際も対応できるよう、社内連携しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	1	1	・階段もあるしバリアフリーではないと思います。 ・シンプルで子どもにもわかりやすいと思います。 ・絵や大きな文字が書かれているため分かりやすい。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	2	1	1	・動いた後で汗だくなっているし、時折空気の入れ替えなどした方が良いと思います。 ・お手洗いが少し薄暗いような気がする ・部屋数がさほどないですし、整理はされているので、言う事はないです。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	4	1	0	・個別に支援してもらえる放課後デイが少ないので、とても助かっています。 ・職員の入替わりが激しく、バイトという位置付の方がいたり、専門性について疑問のところがあつた。 ・子どもが楽しみにしているため専門的な支援が受け入れられていると思う。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2	0	3	・運動を中心に療育して下さっています。 ・ちゃんとやって下さっている先生もいますが、特性をちゃんと把握していない方もいるように感じます。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	・こちらの要望もよく聞いてくださり、支援計画も適切な内容のものを作成してもらっています。 ・しっかりと話しを聞いて頂き、支援計画に反映してもらえていると思います。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2	0	4	・ヒアリングやフィードバックもあり、支援体制はきちんとしていると思います。 ・先生によりけり ・親の相談も聞いていただいている。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2	0	1	・支援計画にそってやってもらっている内容については満足しています。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3	0	1	・固定化されても良い時もあると思っています。 ・個別療育のみではなく、色々なイベントも開催され、グループでの活動も取組むことができている。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	4	8	7	・無いです、それ以外とおもいます ・他の環境下の子供と接する機会はありませんが、同時間帯の子供さんと一緒に活動をする時間が設けられ、満足しています	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	1	0	・説明はちゃんとしてくださいます。 ・必要時に時間をつくって説明して下さります	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	1	・毎回個別面談など説明いただいている ・分かりやすく説明して頂いています。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	5	6	・メールや親の待機見学スペースにお知らせを掲示されている。 ・特に必要を感じない。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っておりませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後も、何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0	・学校や家での様子を共有できて、療育の方向性を加減できて、ありがたいです。 ・伝えたいことがあればフィードバックの時間などにお話しできます。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	1	0	・その都度、子供の様子を聞いて対策を考えてくれます。 ・子供への理解について、アドバイスいただいている。	支援計画の更新に合わせて、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	1	・対応して下さる先生によると思います。 ・子どもの成長を考えて支援して下さる先生がいると感じます。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	8	7	・保護者会があると聞いた事はありません。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	5	・相談窓口が明確で問題ないと思います。 ・その都度相談にのってもらったり、アドバイスをもらっている	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話しいただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	2	・毎回個別にフィードバックあり。 ・しっかりと話を聞いて下さっているとは思っています。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	1	5	・メールやアプリ等で発信されている ・ホームページ等をあまり見ないので分かりません。	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2	・安全に取り扱われてると思います。 ・信用しています	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	1	2	・見立つ場所にマニュアルが貼ってある ・壁に貼ってあります。	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	1	・防災訓練が定期的にあります。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力を願います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	4	・安全に支援が行われています。 ・問題ないと思います。	安全計画を策定し、社内で研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	1	3	・ちょっとしたことで経緯など丁寧に教えていただいています。 ・怪我をすると丁寧に説明があります。	事故対応について、マニュアルに定め社内でも周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	3	0	0	・とても信頼しているようです。 ・先生との信頼もほほない状態だったり、安心して預けられる環境ではないです ・そらを楽しんで通っています。ありがとうございます。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	0	0	・対応して下さる先生を考えながら、楽しみにしています。 ・他の習い事とはちがいで、通所を楽しみにしています	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	5	0	0	・個別については、満足しているが、半分の自由時間については個室に入って見えない部屋で何をやっているのか内容も不明なところがあり、不満あり。 ・いつも困りごとを理解して、対応してくれて助かっています。 ・親子ともに満足して利用しています。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

【公表】事業所における自己評価(放課後等デイサービス)

事業所名		公表日			
スタジオそら東中野		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	時間を配分し、運動部屋を広く使える時間なども設けています。	今後も部屋の割り振りを事前に行い、十分なスペースを確保出来るように努めます
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	スケジュール作成時に適切に調整しています。	今後も安全管理を考慮した適切な配置が出来るように努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	身支度・机上活動・運動で部屋を分けています。段差や危険な箇所では安全管理に注意を払っています。	手洗い場の階段は段差が高く、躓く子どもが多い。すぐに触れられる距離にいたり、足元を見ることを促していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	月に一度のクレンリネスチェックを行っています。日々消毒・清掃を行っています。	引き続き日々の清掃と衛生管理に努めます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	クールダウンが必要な場合に空いている部屋がある状態になっています。	今後も必要に応じて部屋等を使用できるように環境を整えていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	半年に一度、面談で振り返りと目標設定を行っています。支援計画の立案などを全てのスタッフが関わっています。ミーティングなどで定期的に擦り合わせをしています。	引き続き業務改善の為の話し合いを実施します。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表をスタッフ全員に共有し、意見の把握に努め、改善が必要な部分は研修を行っています。	ホームページにて公表をしていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日常的に発言しやすい雰囲気があるため、意見を言えることが多いです。	今後も、意見交換をする機会を設け、業務改善につなげていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者評価は実施しておりません。行っていない事を知らないスタッフもいる為周知していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	多数のスタジオ合同の研修を行っています。スタジオ内での研修もしています。	引き続き、スタジオにて想定される場面での対応練習や研修を行い資質の向上に努めます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援計画に基づいて作成をしており、スタッフ間での共有、FB時に保護者様にお伝えをしています。	引き続き、より良い支援を行っていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	半年に一回以上のアセスメントを行い、客観的データと保護者とのヒヤリング面談の内容を基にスタッフ全員で協議し支援計画を作成しています。	引き続き、より良い支援計画の立案に努めます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ケース会議を定期的に行い、ヒヤリング面談の内容も含め支援計画の見直しの為の職員・管理者とで話し合いを行っています。	引き続き、適正なケース会議や話し合いを実施します。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個人のファイルに支援計画入れて保管し、職員がすぐに確認できるようになっています。また実施内容や進捗を事前に職員間で共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルなアセスメントは初回時等に使用し、インフォーマルなアセスメントは支援計画更新時に使用し確認をしています。	引き続き、アセスメントを活用しより良い支援の実施に努めます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	一人一人の状況に応じた内容でケース会議を行い、ガイドラインに準じた内容で設定しております。	引き続き、児童発達支援ガイドラインに対して理解が深まるよう、スタッフに周知していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	小集団の際は話し合いを行なって立案します。個別時はスタッフ全員で情報共有を行なった後にプログラムを立案しています。全体で話し合いをしたり、個人で考える上での相談などをして決めています。	引き続き適切なプログラム作成に努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	前回情報をスタッフ間で共有してスモールステップを意識し活動をその都度変えています。共有の時間や、サービス提供記録から以前取り組んだ内容を確認をしたりしています。	各スタッフが行えるプログラムの拡充に努める等、固定化しないよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	ヒアリング面談にて聞き取りを行い、ニーズに合わせて内容を作成しております	引き続き、適切な個別支援計画の作成に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時に必ず打ち合わせを行い、来所されるお子様の情報共有や担当割り振りを行なっています。事前準備の際に必ず確認をしています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	0	終礼時に必ず行い、保護者からのコメントや本日の療育での様子・実行方法の共有を行なっています。その日の様子をまとめて共有をしています。	今後も終礼時にその日の支援の振り返りと話し合いを行い、より良い支援の為に話し合いを行なっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	評価を数値化し客観的な事実に基づき検証、改善を行なっています。サービス提供記録には具体的な活動内容の詳細を記入するようにしています。	引き続き客観的な評価に努め、適切な検証・改善に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを定期的に行い、ヒアリング面談の内容も含めて支援計画の見直しの為の話し合いを行なっています。	引き続き適切なモニタリングを実施していきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	4つの基本活動の中で、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせ合わせて支援を行っています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動の中で、選択する場面や意見を聞く場面を設定し、自己選択や自己決定を促す支援を行っています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者が区の事例検討会に参加しております。	今後も積極的に参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	協力医療機関は待ち合いに掲示しております。各区の障害福祉課や保育園・幼稚園と情報共有を行っています。	今後も適切な連携に努め支援を行う体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	保護者から共有をいただいたり、必要に応じて情報共有等を行っています。	今後より積極的な連携に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要に応じて情報共有して相互理解に努めています。	今後より積極的な連携に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	保護者要望に応じて情報提供を行っています。	今後より積極的な連携に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	事例検討会や電話連絡があった際には連携して助言を受けています。	内容については事業所内で共有を行います。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	5	ニーズが少ないため実施はありません。	今後ニーズが増えた際は実施を検討します。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については事業所内で共有を行います。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎日療育の後のフィードバックの中で行なっています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	フィードバック時にお困りごとを聞き取りスタジオで練習し、ご自宅でも出来る練習方法をお伝えしたり、保護者様からのご要望を受け面談を行っています。	本格的に行えていないので、研修等により手法の拡充に努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に実施してます。また、待合室の掲示物を使用し説明しています。	引き続き、適切な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画作成前にヒアリング面談やメールにてご要望の聞き取りを行っています。	引き続き、より良い支援計画の立案に努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者には十分な説明をしてから同意をいただいています。	引き続き、適切な説明を行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	通常のフィードバックに加えて要望を頂いた際に柔軟に面談の機会を設けています。	引き続き、柔軟な対応に努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後、ご要望に応じて実施を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった際には、迅速に対応するように心がけてます。また、電話やメールなどの相談に対応してます。	引き続き、迅速に対応できるよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	そら通信にて発信を行っています。また、事業所内にイベントの活動報告ポスターなど掲示しています。アプリにてイベント内容などの発信を行っています。	引き続き、情報の発信に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの保管庫にて収納・管理してます。	今後も個人情報の厳重な取扱いに留意します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	傾聴の姿勢を心がけて意思の疎通に努めてます。	引き続き、より適切なコミュニケーションに努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		スタジオ単位での実施はありません。必要に応じて検討します。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	事務室や待合室にマニュアルを設置し、周知に努めています。	声掛けなどを行い、マニュアルの周知に努めます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	年2回の避難訓練を計画し、行っています。	より多くの方にご参加いただけるようにスケジュールを組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	フェイスシートにて情報の収集を行なってます。	引き続き、状況の把握に努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	フェイスシートにより、状況の把握に努めています。イベント等で食品を扱う際にはその都度確認しています。	今後も厳正な確認を実施していきます。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理計画を作成し、社内研修や訓練を実施しております。	引き続き、研修や訓練を行い、必要な措置を講じ安全に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	熱中症の危険時等にメールや電話でご家族へ周知をしています。	引き続き、取り組み内容を周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	終礼時に共有を行い、スタッフ間での検討の場を設けています。	検討した際の結果や改善策など、スタッフ全員に周知できるように努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修を実施し、常に子どもたちや保護者様のサインを見逃さないようにしています。	最新の動向なども把握し、日々虐待の防止に努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	必要な保護者には書面にて説明を行い、同意を得ています。また身体拘束が必要かどうかを定期的に協議する体制を整えています。	引き続き、身体拘束に関する適正な協議を行っていきます。